

Smart Construction Quick3D(以下SC Quick3D)のアップデートについて、以下の日程・内容にてリリースを致します。

日程：日本時間 9月10日(火)(予定) 18:00~24:00

(リリース作業中は、一時的にアプリが使えなくなります。)

- モバイルアプリ：アプリの自動アップデートをONにしていない場合は、App-Storeにて手動でアップデートしてください。
- Webアプリ：本リリース内容については自動的にアップデートされ、ご利用者並びにご利用中のデータにも影響はございません。

NO.	現行最新	今回リリース
モバイル	Ver. 1.72	Ver. 2.0.0
Web	Ver. 1.6.21	Ver. 2.0.0

NO.	対象機能	対象	概要	詳細
1	SSO(Single Sign On)機能	モバイルアプリ Webアプリ	新機能追加です。 SC Portalのログイン情報とSC Quick3Dのログイン情報を共通化しました。	詳細はP.2にて説明しております。
2	点群表示高速化	モバイルアプリ Webアプリ	新機能追加です。 点群操作が高速に行える様に変更致しました。	左記の通り。
3	画面の自動更新(ヘルマート変換/座標系変換/点群除去)	モバイルアプリ Webアプリ	新機能追加です。 点群操作が完了した際にポップアップで通知する機能を追加しました。	詳細はP.3にて説明しております。
4	UI/UX改善	モバイルアプリ Webアプリ	機能改善です。 全体的に操作がしやすくなる様に配置変更等を行いました。(各種操作実施までのクリック数を全体的に少なくなる様に変更しました。)	詳細はP.5-16にて説明しております。

1. 機能改善

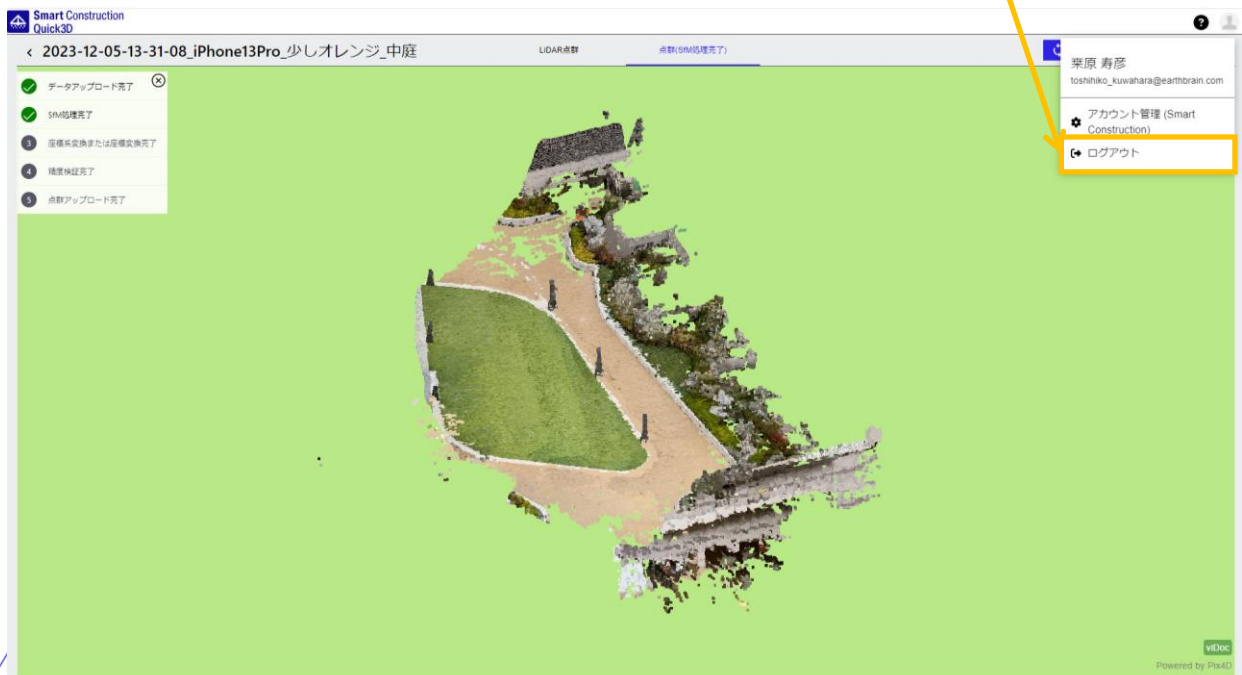
- (i) SSO(Single Sign On)機能
- (ii)点群表示高速化
- (iii)画面の自動更新(ヘルマート変換/座標系変換/点群除去)

2. UI/UX改善

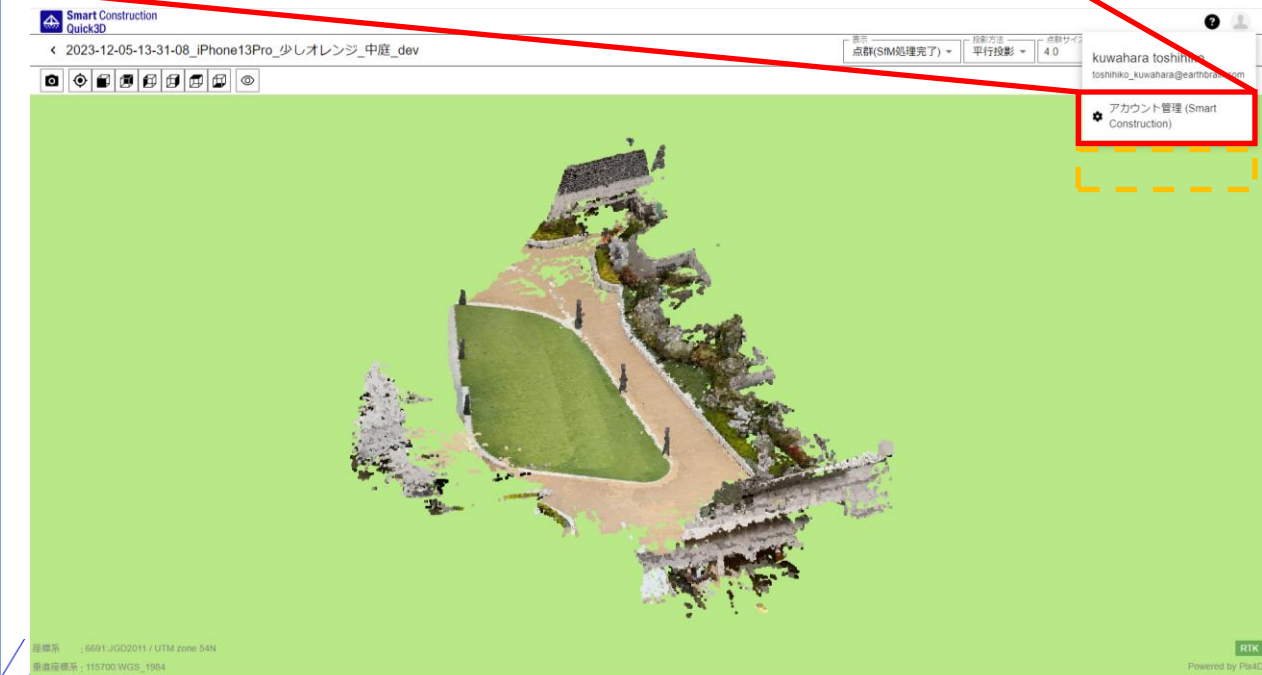
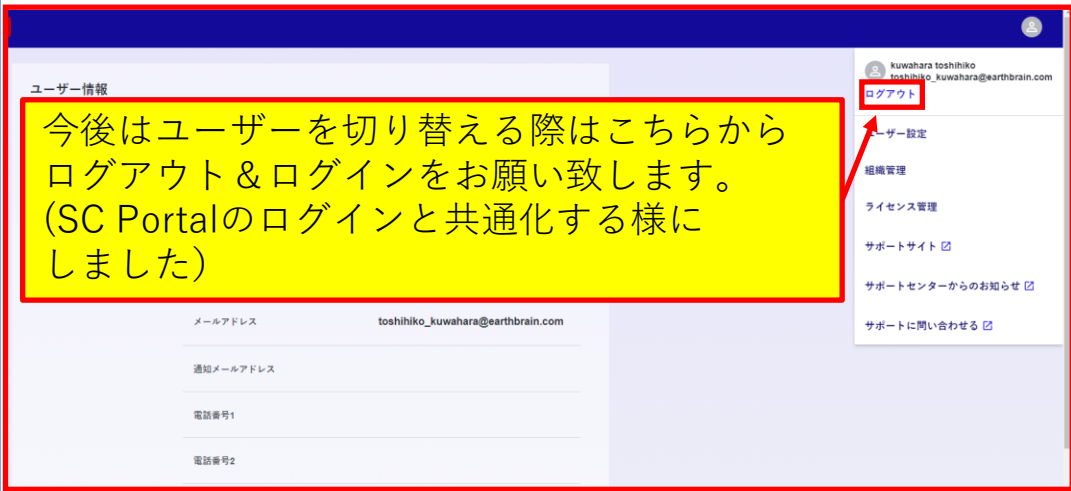
実施したい機能にたどり着くまでのクリック回数が多いという課題があった為、UI/UXを全体的に見直しました。

現バージョン(ver.1.6.21)

従来はユーザーを切り替える為には
このボタンでログアウト＆ログインをしていました。
(SC Portalのログインと共通化出来ていなかった為、
それぞれ ログインする必要があった。)

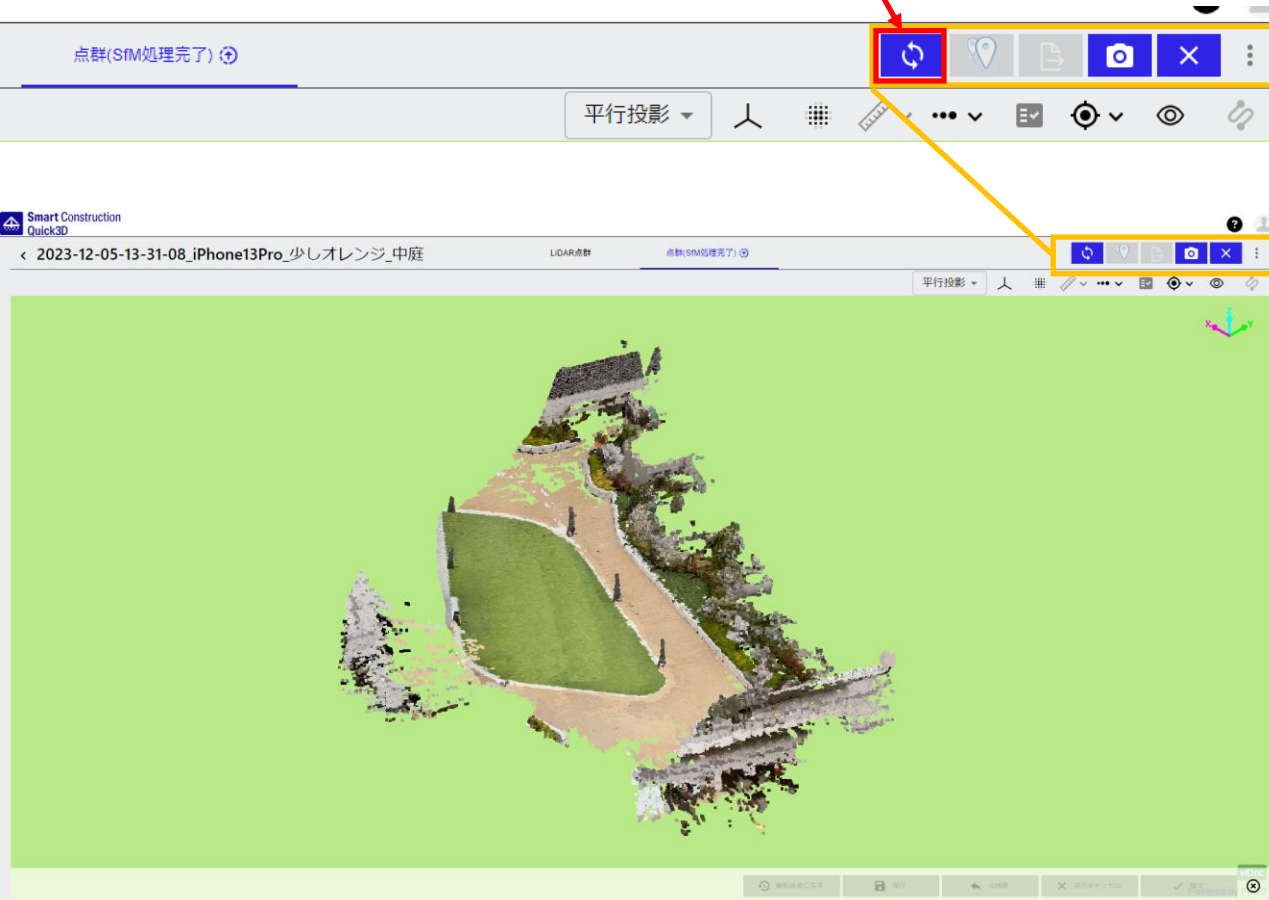


新バージョン(ver. 2.0.0)



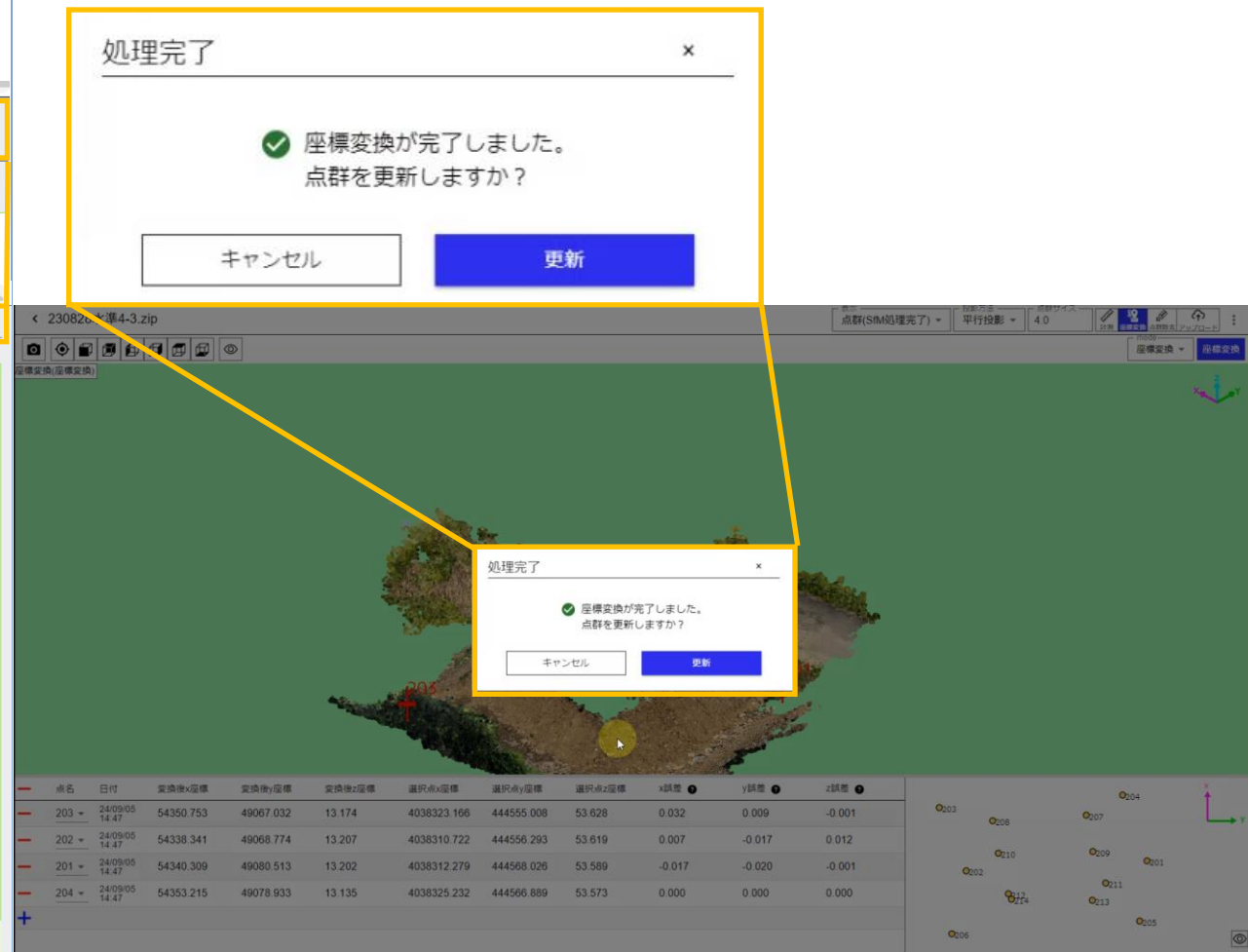
現バージョン(ver.1.6.21)

従来は処理が完了したかどうかはこの「更新ボタン」を押さないとわかりませんでした。



新バージョン(ver. 2.0.0)

今後は「ヘルマート変換」「座標系変換」「点群除去」の処理が完了した際にポップアップが出てお知らせする機能を追加しました。



1. 機能改善

- (i) SSO機能
- (ii)点群表示高速化
- (iii)画面の自動更新(ヘルマート変換/座標系変換/点群除去)

2. UI/UX改善

実施したい機能にたどり着くまでのクリック回数が多いという課題があった為、UI/UXを全体的に見直しました。

現バージョン(ver.1.6.21)

従来のフィルタリングは下記手順でした。(2クリック)
 ①「フィルタ」アイコンを選択
 ②「フィルタ部分」を選択

URLは下記で固定でした。
<https://quick3d.smartconstruction.com/>

デフォルトのフィルタは「年」でした。

フィルタ

保存日時

From ~ To

撮影者の選択

対象

現場名

キャンセル 絞り込み

新バージョン(ver. 2.0.0)

今後のフィルタリングは下記手順となります。(1クリック←2クリック)
 ①「フィルタ部分」アイコンを選択
クリック数を減らす事で効率化を図りました。
 また、「GPS/RTK」「点群除去有無」でフィルタ出来る様にしました。

フィルタ状態に応じてURLが変化する様にしました。(SSO対応の為)

検索結果: 44/532件

撮影日 From ~ To 年 月 日

2024/08

240827 リカ... : 240826 : Test : Test

2024/07

Sample : vidocN2024-0...

2024/04

2024-04-25-16... : 2024-04-18-14... : 2024-04-18-13... : 2024-04-18-13... : 2024-04-18-13... : テストearthbrain : ウィルキンソン

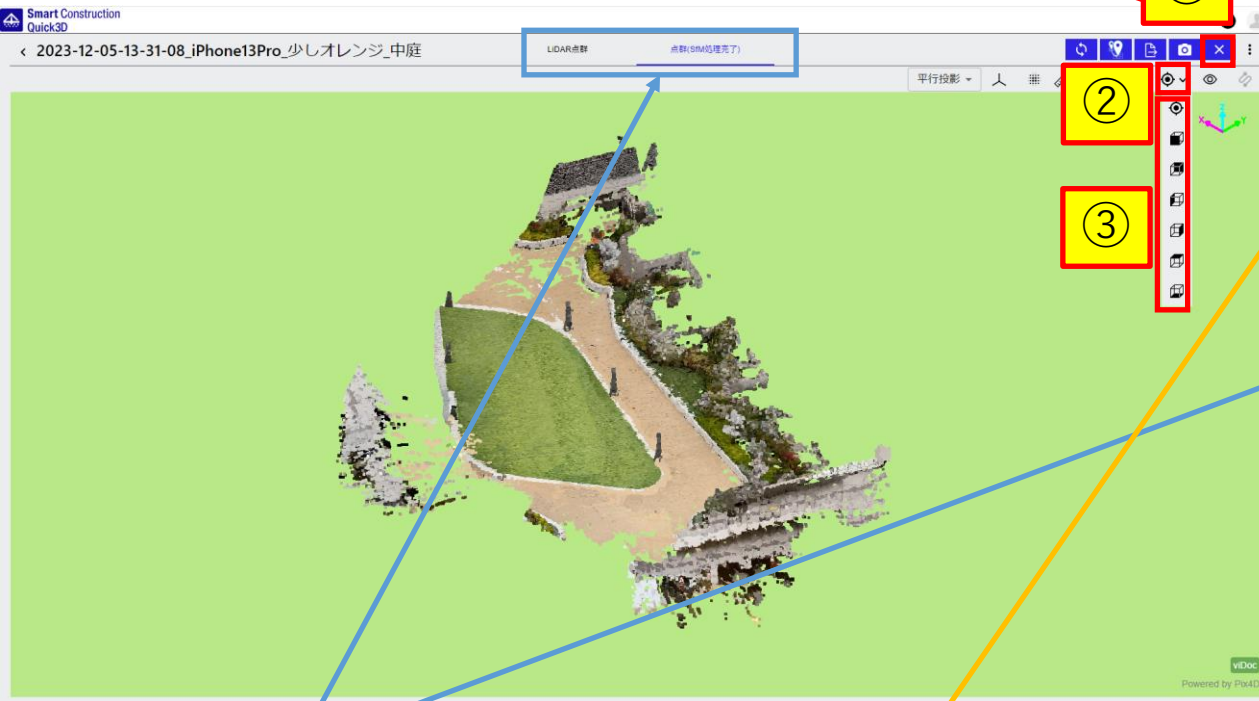
デフォルトのフィルタを「月」にしました。

全てのプロジェクトに「RTK」か「GPS」を表示させる様にしました。

現バージョン(ver.1.6.21)

従来の視点変更は下記手順でした。(3クリック)

- ①「オプション」アイコンを選択
- ②「視点変更」アイコンを選択
- ③「視点方向」アイコンを選択



閲覧する点群はプルダウン形式(←タブ形式)に変更しました。

今後はここに現在のステータス(計測, 座標変換等)を表示する様にしました。

新バージョン(ver. 2.0.0)

今後の視点変更は下記手順となります。(1クリック←3クリック)

- ①「視点方向」アイコンを選択

クリック数を減らす事で効率化を図りました。

計測/座標変換/点群除去/アップロードといった**点群に対する各種アクション**を配置



表示している点群の座標系を表示する様にしました。

選択点のXYZが表示される様にしました。

現バージョン(ver.1.6.21)

従来の計測は下記手順でした。(3クリック)
 ①「オプション」アイコンを選択
 ②「計測」アイコンを選択
 ③「計測方法」アイコンを選択



計測結果を下側に配置しました。
 また、「v」マークを押す事で一時的に表を隠す事ができるようになりました。
 表の大きさも自由に変えられます。
 iOSの場合表と点群の間の線が選択しづらかったので、「v」マークをドラッグでも対応できるようにしております。

下側のアイコン類は重複している為、削除しました。

従来は計測モードから抜ける為には、**×**ボタンを押す必要があり、**×**ボタンを押すと「計測を終了しますか？」というポップアップを出てOKすると、計測モードから抜けられました。

新バージョン(ver. 2.0.0)

今後の計測は下記手順となります。(2クリック←3クリック)
 ①「計測」アイコンを選択
 ②「計測方法」アイコンを選択
クリック数を減らす事で効率化を図りました。



今後はは計測モードから抜ける為には、特に操作は必要がなく座標変換なり点群除去のアイコンを選択する事で所望の機能の利用が可能になります。

現バージョン(ver.1.6.21)

従来は「編集」ボタンを押した後表示が「完了」ボタンに変更され、「完了」ボタンを押す事で編集モードを抜けます。



編集は計測結果の三点リーダーの中に配置しました。

新バージョン(ver. 2.0.0)

今後は編集終了時は右上部の「確定ボタン」を押す事で編集モードから抜ける事とします。



ヒートマップを表示するアイコンの位置を変更しました。

点名	x座標	y座標	z座標
編集	175.777	371352.910	128.045
削除	173.248	371357.473	128.058
3	3952143.009	371350.281	128.111

現バージョン(ver.1.6.21)

従来の座標入力の表示は下記手順でした。

- ①「座標変換」アイコンを選択
- ②「座標入力」タブを選択



「座標入力」、「座標変換」、「精度検証」の選択方法はプルダウン形式 (←タブ形式) に変更しました。

選択項目が2つだったのを1つにまとめました。

計測結果を下側に配置しました。また、「v」マークを押す事で一時的に表を隠す事ができるようになりました。表の大きさも自由に変えられます。

新バージョン(ver. 2.0.0)

今後の座標入力の表示は下記手順となります。

- ①「座標変換」アイコンを選択
- ②modeを「座標入力」に変更



右下に入力座標の一覧を表示する様にしました。

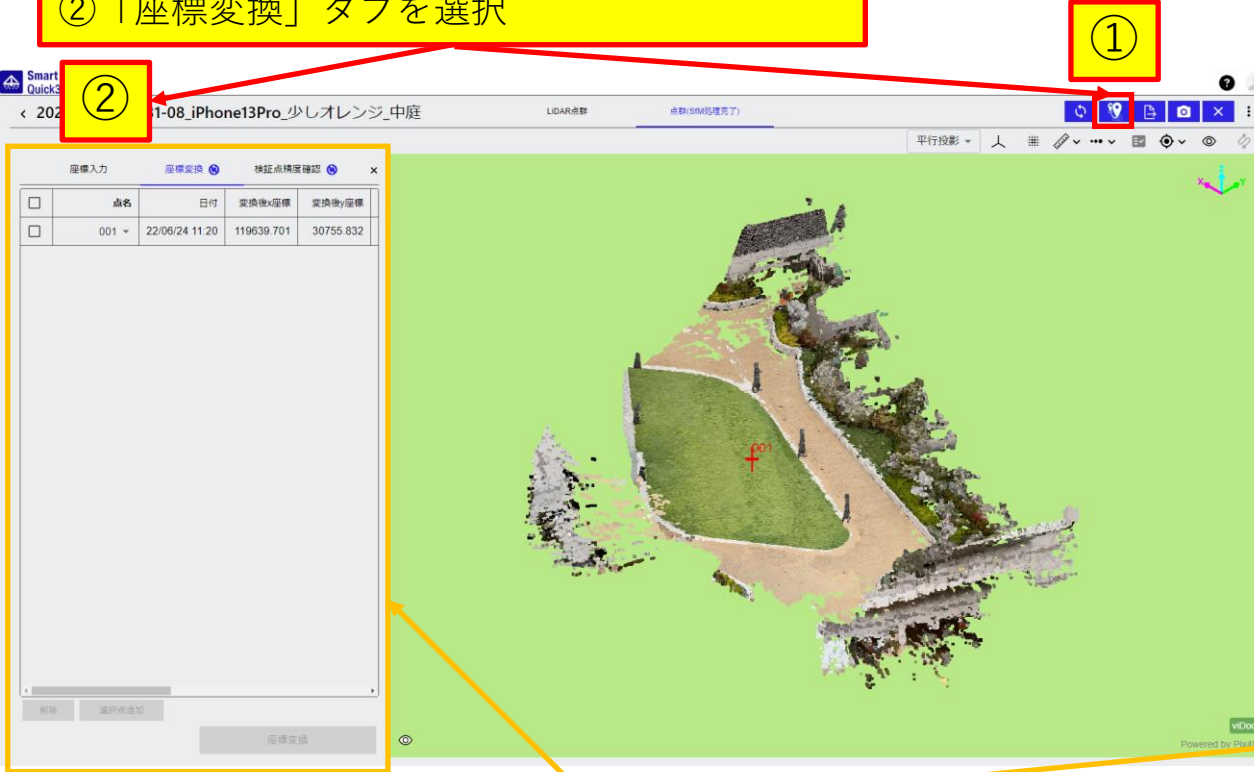
直感的に操作できるようにする為、「+」で追加、「-」で削除する様にしました。また、一番上の「-」は全てを削除する事にしました。

	点名	日付	x座標	y座標	z座標
-	008	23/07/05 11:59	119651.476	30753.705	399.808
-	007	23/07/05 11:58	119651.942	30752.590	399.844
-	006	23/07/05 11:58	119652.565	30751.271	399.879

現バージョン(ver.1.6.21)

従来の座標変換の表示は下記手順でした。

- ①「座標変換」アイコンを選択
- ②「座標変換」タブを選択

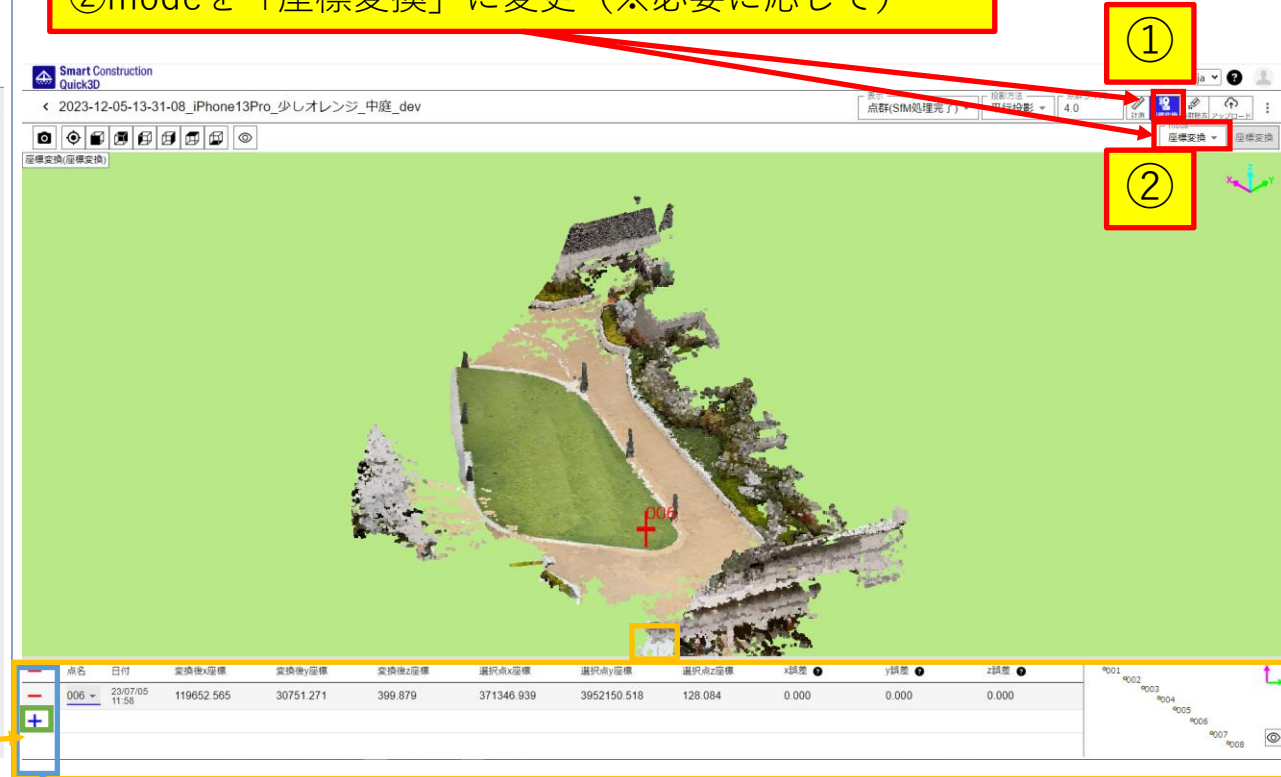


計測結果を下側に配置しました。
 これによりほぼ全ての項目が表示される様になりました。
 また、「v」マークを押す事で一時的に表を隠す事ができるようになりました。表の大きさも自由に変えられます。

新バージョン(ver. 2.0.0)

今後の座標変換の表示は下記手順となります。

- ①「座標変換」アイコンを選択
- ②modeを「座標変換」に変更(※必要に応じて)

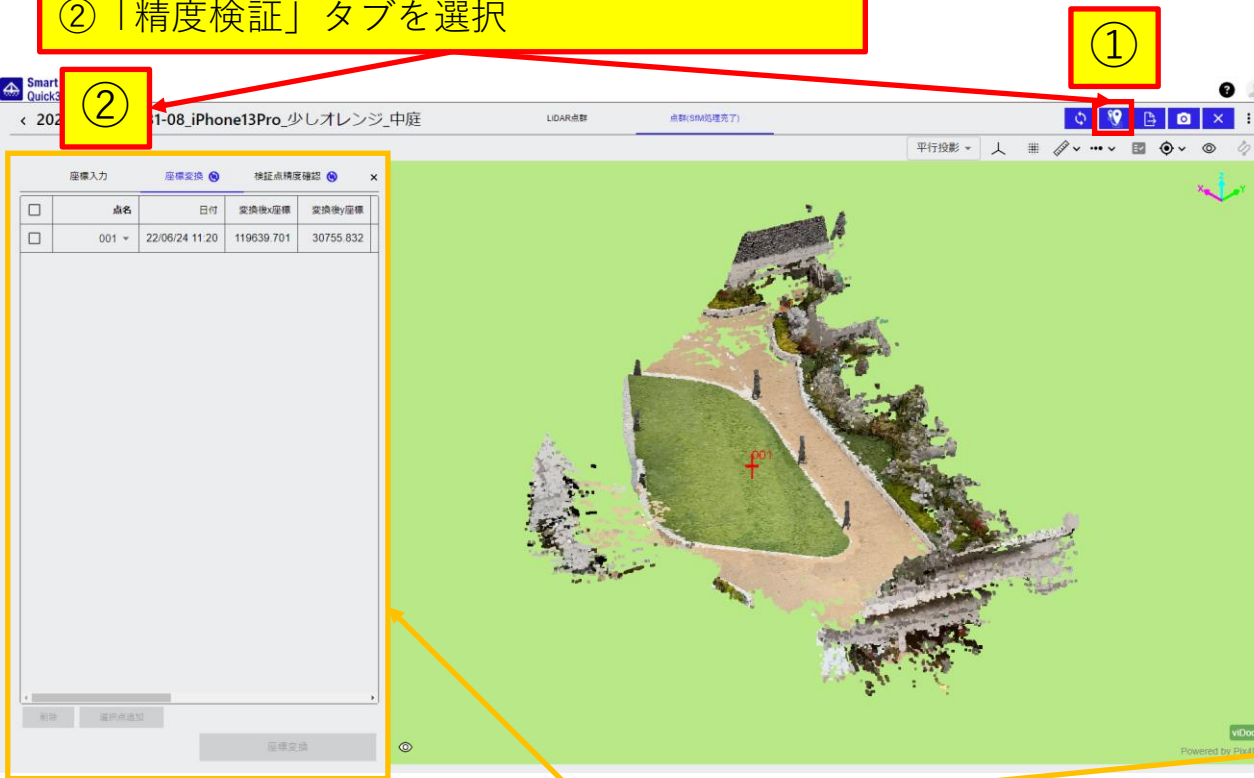


直感的に操作できる様にする為、
 「+」で追加、「-」で削除する様にしました。
 また、一番上の「-」は全てを削除する事にしました。

現バージョン(ver.1.6.21)

従来の精度検証の表示は下記手順でした。

- ①「座標変換」アイコンを選択
- ②「精度検証」タブを選択

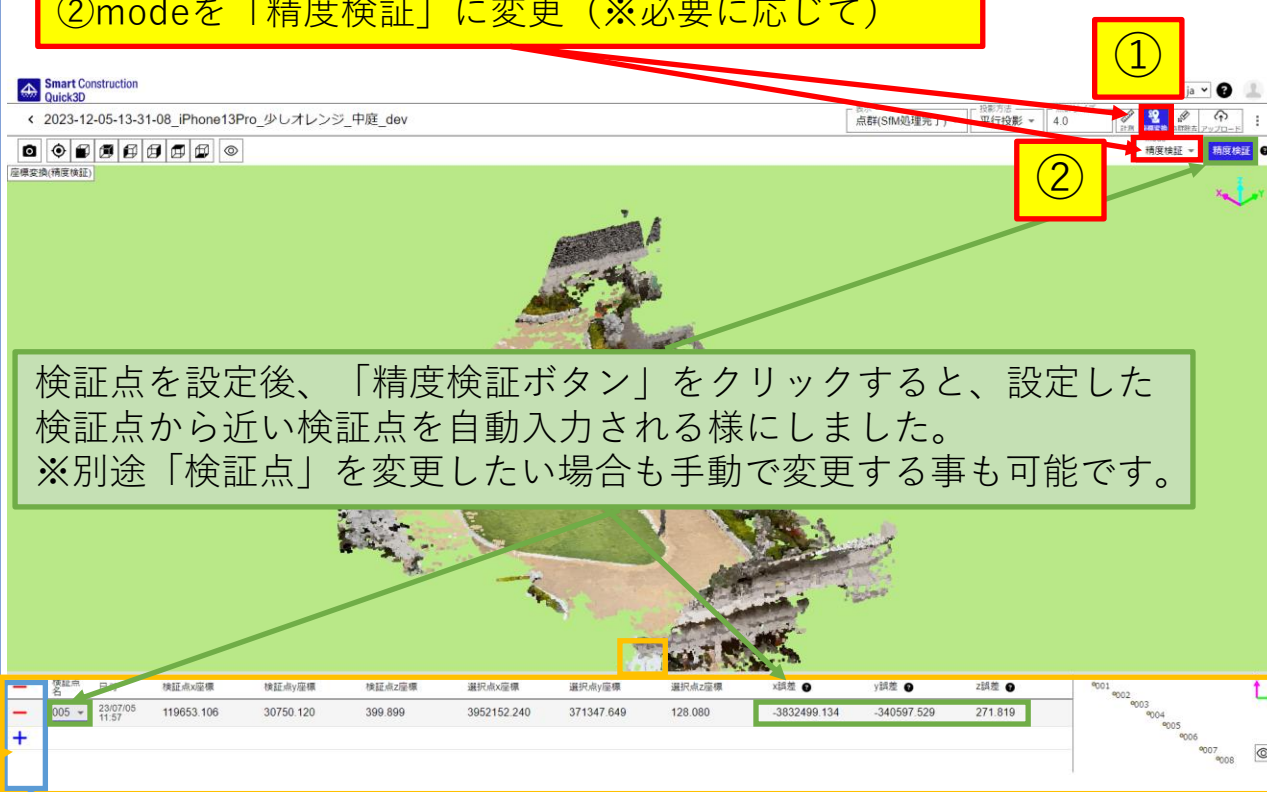


計測結果を下側に配置しました。
これによりほぼ全ての項目が表示される様になりました。
また、「v」マークを押す事で一時的に表を隠す事ができるようになりました。表の大きさも自由に変えられます。

新バージョン(ver. 2.0.0)

今後の精度検証の表示は下記手順となります。

- ①「座標変換」アイコンを選択
- ②modeを「精度検証」に変更（※必要に応じて）



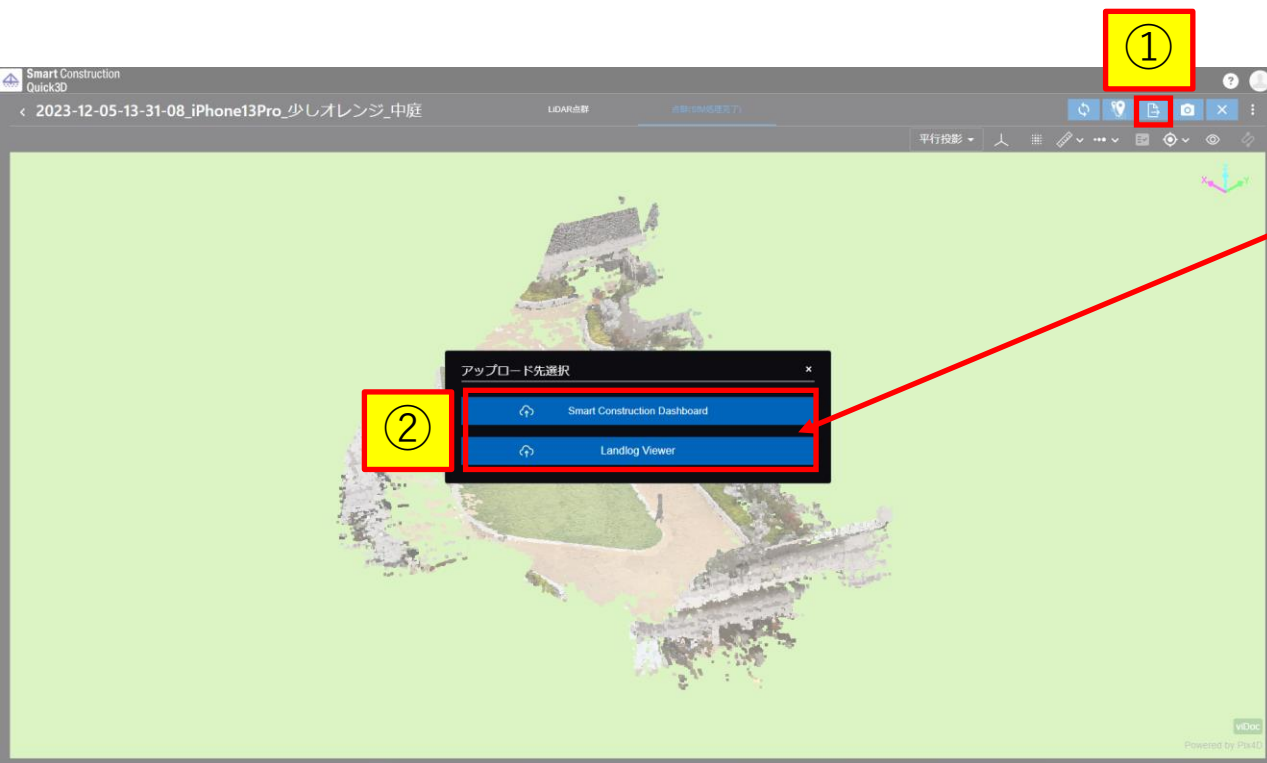
検証点を設定後、「精度検証ボタン」をクリックすると、設定した検証点から近い検証点を自動入力される様になりました。
※別途「検証点」を変更したい場合も手動で変更する事も可能です。

直感的に操作できるようにする為、「+」で追加、「-」で削除する様になりました。また、一番上の「-」は全てを削除する事にしました。

現バージョン(ver.1.6.21)

従来のアップロードは下記手順でした。

- ① 「アップロード」アイコンを選択
- ② 「アップロード先を選択」を選択



新バージョン(ver. 2.0.0)

今後のアップロードは下記手順となります。

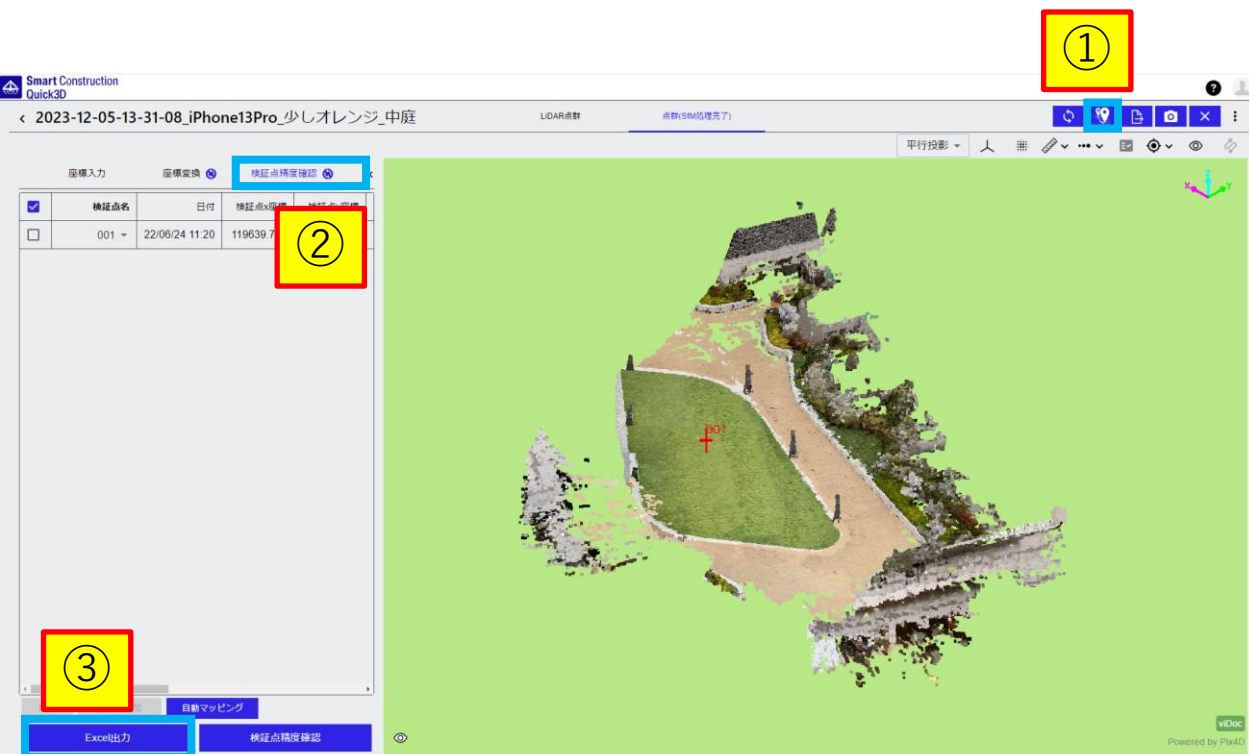
- ① 「アップロード」アイコンを選択
 - ② 「アップロード先を選択」を選択
- 手順は同じですが、
SC DashboardやLLVへのアップロード画面を上部に統一し、
「アップロード」のアイコンを変更しました。



現バージョン(ver.1.6.21)

従来の精度検証レポートの出力は下記手順でした。

- ①「座標変換」アイコンを選択
- ②「精度検証」タブを選択
- ③「Excel出力」ボタンを選択



新バージョン(ver. 2.0.0)

今後の精度検証レポートの出力は下記手順となります。

- ①「三点リーダー」を選択
- ②「エクスポート」を選択
- ③「精度検証」選択後、「エクスポート」を選択

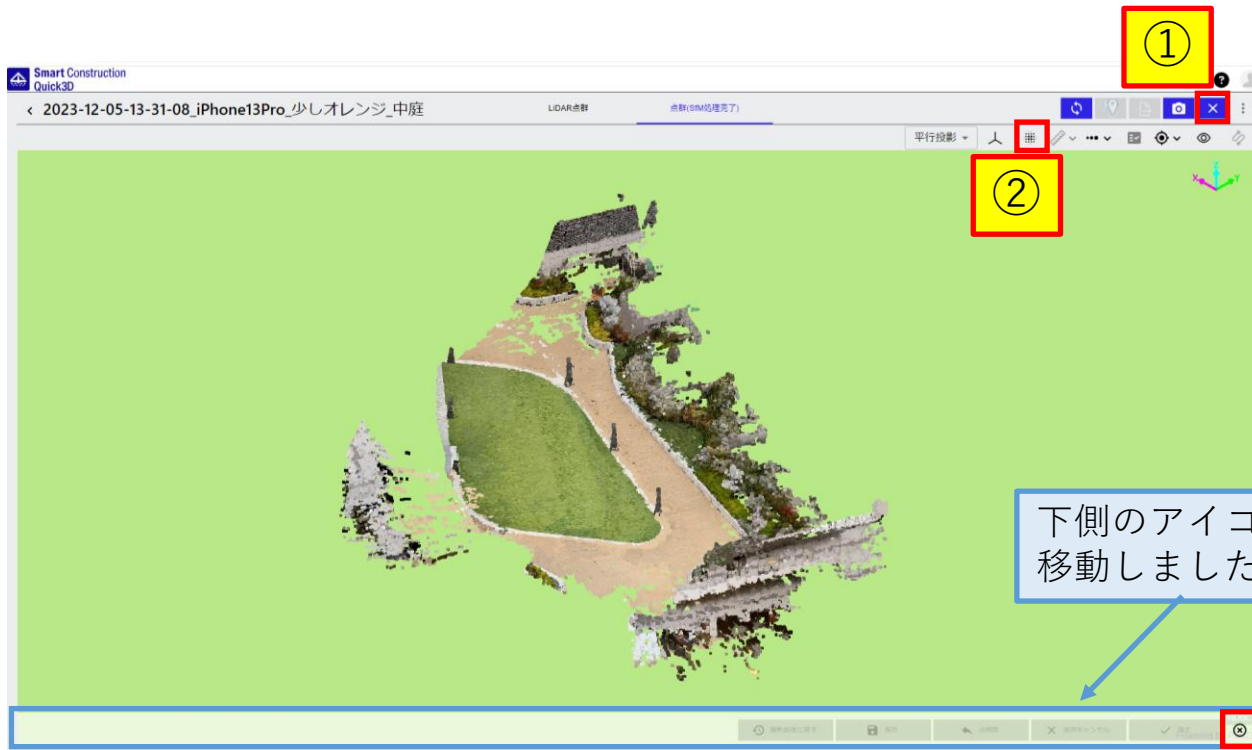


現バージョン(ver.1.6.21)

従来の点群除去は下記手順でした。(2クリック)

- ①「オプション」アイコンを選択
- ②「点群除去」アイコンを選択

iOS(iPhone, iPad)では点群除去実施できませんでした。



下側のアイコン類は右上へ移動しました。

従来は点群除去モードから抜ける為には、**X**ボタンを押す必要があり、**X**ボタンを押すと「点群除去を終了しますか？」というポップアップを出てOKすると、点群除去モードから抜けられました。

新バージョン(ver. 2.0.0)

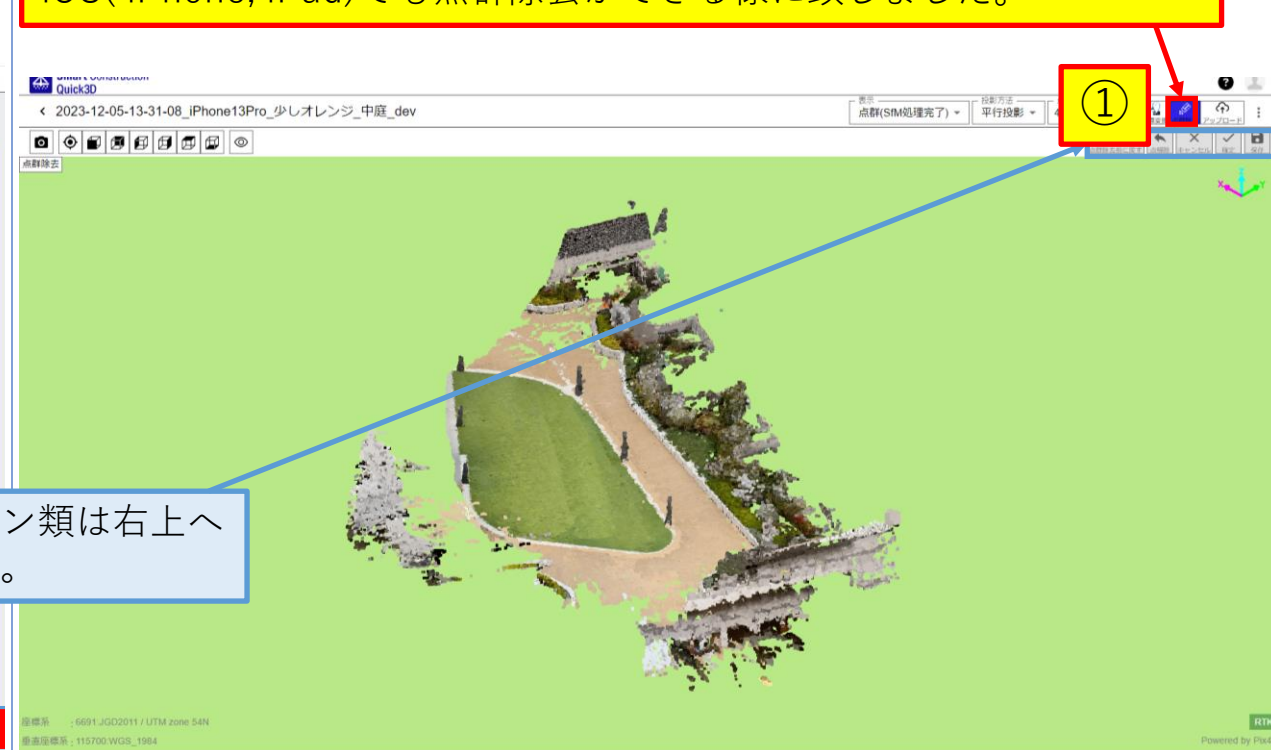
今後の計測は下記手順となります。(1クリック←2クリック)

- ①「点群除去」アイコンを選択

クリック数を減らす事で効率化を図りました。

また、点群除去アイコンを変更致しました。

iOS(iPhone, iPad)でも点群除去ができる様に致しました。



今後はは点群除去モードから抜ける為には、特に操作は必要がなく計測なり座標変換のアイコンを選択する事で所望の機能の利用が可能になります。

現バージョン(ver.1.6.21)

従来の座標系変更は
下記手順でした。

- ①「三点リーダー」を選択
- ②「座標系」を選択
- ③「座標系変更」を選択

座標系

Smart Construction Dashboardの座標系を連携する

座標系を選択する

座標系
選択してください

垂直基準
選択してください

戻る 次へ

①

②

③



新バージョン(ver. 2.0.0)

今後の座標系変更は
下記手順となります。

- ①「三点リーダー」を選択
- ②「詳細情報」を選択
- ③「座標系」の「変更」を選択

座標系変更

Smart Construction Dashboardの座標系を連携する

座標系を選択する

座標系
選択してください

垂直基準
選択してください

次へ

①

②

③



現バージョン(ver.1.6.21)

従来の座標系変更は
下記手順でした。(2クリック)
①「三点リーダー」を選択
②「撮影写真一覧」を選択



新バージョン(ver. 2.0.0)

今後の撮影写真表示は下記手順となります。
(1クリック←2クリック)
①表示を「撮影写真」に変更

クリック数を減らす事で効率化を図りました。

